

第3回船越保育園移管法人選考委員会 議事録

日 時 令和7年6月26日(木)

13時30分～15時45分

場 所 はぐくみかん会議室4

【出席委員】

ケニヨン 充子、藤崎 啓造、松村 和彦、柳田 広太、渡部 俊賢 (50音順、敬称略)

【事務局】

民生局福祉こども部子育て支援課 3名(小池課長、青木主査、宮本(記録者))

【委員会の成立確認】

委員総数5名中5名出席につき、委員会の成立を確認した。

【議 事】

- (1) 委員長の選出について
- (2) 2次選考の合格基準及び採点表について
- (3) 応募法人のプレゼンテーション・面接
- (4) 応募法人との質疑応答
- (5) 採点・審議

【配付資料】

資料1 法人選考方法について

資料2 2次選考採点表

資料3 船越保育園保護者から応募法人への意見・質問等について

【審議結果】

- (1) 委員長の選出について

藤崎委員から推薦されたケニヨン委員が委員長に就任した。

続いて、ケニヨン委員長が藤崎委員を委員長職務代理者に指名した。

- (2) 2次選考の合格基準及び採点表について【資料2～3】

事務局から資料2～3に基づき、2次選考の採点表及び合格基準について説明を行った。その後、プレゼンテーションに先立ち、応募法人から提出された副本(応募書類)の内容に係る各委員の所見について相互に確認を行った。

(3) 応募法人のプレゼンテーション

ここでケニヨン委員長より応募法人及び傍聴者の入場が許可された。

1 次選考（事務局による書類審査及び財務審査）を通過した応募法人（株式会社スマイル保育園）が提案書に基づき説明を行った。（15 分程度）

(4) 応募法人との質疑応答（面接）

各委員から応募法人に対しプレゼンテーションに対する質疑応答（面接）を実施した。

詳細は、以下の【議事概要】のとおり。

【議事概要】

＊この議事概要は、委員等の発言を事務局において要点筆記したものです。

(渡部委員)

新園舎の平面図を見ると、パーテーションで区切ったオープンな保育スペースとなっているが、パーテーションはどのような形状を想定しているのか。

(応募法人)

背の高いものではなく、子どもの行き来を制限するような柵状のものを考えている。

(渡部委員)

ロッカーは可動式なのか。地震対策はどのように講じるのか。

(応募法人)

高さ 90 センチ程度のロッカーだが、転倒防止のストッパーをつけている。その他、床にアンカーを打つなどの対策を考えたい。

(渡部委員)

オープンな保育スペースであるため、活動中の子どもの声が、昼寝中の子どもに影響を与えるなどの音の問題が生じると思うが、どのように対応するのか。

(応募法人)

午睡の時間は、隣のスペースでは大きな音を立てない遊びをするように促すなど保育の運用で工夫する。子どももお互いに譲り合いつつ過ごしている。

(柳田委員)

アレルギーを持っている子どもへの配慮について、どのような対策をとっているかお伺いしたい。

(応募法人)

保護者から提出された医師の診断書に基づいて、保護者と調理担当がチェックしながらアレルギー対応の献立を決めている。給食を提供する際も、調理室でのチェックのほか、配膳担当の保育士、給食介助の保育士が、重ねてチェックを行っている。また、食器の色を変える、着席するテーブルを他の子と離して設置するなどの工夫をしている。

(松村委員)

英語教室について、遊びの中で英語教育に取り組んでいる点は素晴らしいと思う。講師とは定期契約を交わしているのか。それとも随時契約なのか。

(応募法人)

英会話教室から派遣という形をとっている。講師は主に米軍基地在勤者の妻で2～3年ごとに転勤になってしまうが、その都度、英会話教室のほうで別の講師を派遣してもらっている。講師が海外に滞在中は、オンラインで教室を開催するなど柔軟に対応してもらっている。

(藤崎委員)

障害児に対する保育の方法について、詳しく教えてほしい。

(応募法人)

加配が必要な園児もいるが、1対1ではなく、職員全体でチームとなって対応することを心掛けている。すると、自然と周囲の園児もその子に対してよい働きかけをするようになる。

(藤崎委員)

他害行為のあるお子さんの場合、どのような対応をとっているか。

(応募法人)

まずは、本人に、他害は相手が痛い思いをする行為でダメなことだということを伝えているが、言葉だけでは伝わりにくいこともある。このため、カードを使ったり、1対1で話ができる静かな空間で話すなどの対応をとっている。

(藤崎委員)

オープンな保育室では個別の対応が難しい面もあると思うが、どのような対応をとっているのか。

(応募法人)

そのような子どもでも楽しく他の子どもと遊んでいる場面も多く、1対1で長時間過ごさせることが望ましいとは考えていない。できる限り他の子と一緒に過ごせるよう工夫している。

(松村委員)

職員同士での情報共有や、組織的な問題解決の仕組みはあるのか。

(応募法人)

問題が起きるつど職員から報告を受けており、職員会議でも共有し、対応を協議している。

(ケニヨン委員)

昨今は園児の対応だけではなく、保護者対応でも苦慮する場面も多いと思われる。保護者対応での工夫を教えてほしい。

(応募法人)

送迎時など日常での保護者への対応がトラブル防止には非常に重要で、日ごろからコミュ

ニケーションをとることを心掛けている。職員同士でも保護者の様子は情報共有している。
(ケニヨン委員)

職員同士のコミュニケーションを大事にされていることは伝わったが、船越で新しい保育園を立ち上げたときにどのように組織を運営していくのか考え方を聞かせてほしい。

また船越保育園の今の職員を引き継いでほしいという考えをもっている保護者もいると思われるが、そのあたりを踏まえて、考え方はどうか。

(応募法人)

移管にあたっては、保護者、地元、職員を含めて、スマイル保育園の方針を丁寧に説明し、理解を得たいと考えている。また、移管（開園）の前には、運営中の系列園で、実際に一緒に働きながら慣れてもらうなどの職員研修の機会を設けたいと考えている。

船越保育園から引き続き勤務を希望する職員には、面接などで本人の意向を確認したうえでスマイル保育園で採用したい。船越保育園とスマイル保育園の良いところをすり合わせながら一緒に働いていけたらと考えている。

(渡部委員)

給食用の食材は、どのように調達しているのか。

(応募法人)

基本的に地元の業者から調達しているので、船越保育園についても同様の方法を考えている。

(柳田委員)

スマイル保育園では多くの行事を実施しているが、準備を行う先生の負担も大きいと思われる。持ち帰りでの作業や残業などは、どの程度あるのか。

(応募法人)

ピアノや絵など得意な分野を各々生かして、負担にならないよう工夫している。どうしても残業しなければならない時は、全員で作業して短時間で終わらせるようにしている。

(柳田委員)

船越保育園には保護者会がない。スマイル保育園では保護者会はどのように運営しているのか。

(応募法人)

保護者の中から正副会長、書記、会計の4名を互選してもらい、土曜日に役員会を年に4～5回開催している。写真の販売（1枚50円）は、保護者会で担ってもらっており、販売費については行事などの運営（クリスマス会のお菓子購入費など）に充てている。保護者会費は月100円である。

(渡部委員)

移管後の船越保育園に職員配置をするにあたって、現在運営中の他園から職員を異動させる必要が生じると思うが、異動についてはどのように決めるのか。

(応募法人)

船越在住の職員もいるので、工夫して配置を行いたい。

(5) 採点・審議

応募法人及び傍聴者退室後、採点・審議を行った。

① 2次選考の通過条件

ア 参加委員の評価点の合計点が満点の60%以上であること。

イ 参加委員の評価の中にD評価がないこと。(評価はA・B・C・Dの4段階)

② 2次選考の採点結果

委員5名による選考の結果、合計331点(400点満点の82.8%)となった。また、参加委員の評価の中にD評価の該当もなかったため、株式会社スマイル保育園が2次選考を通過した。

以上